



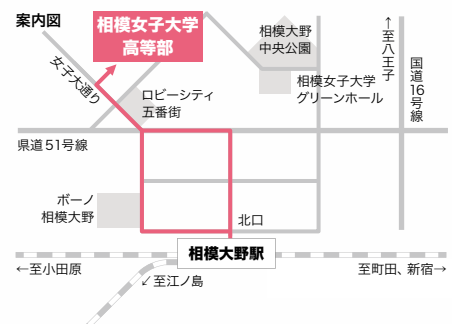
相模女子大学高等部

Sagami Women's University High School

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1

TEL. 042-742-1442 | FAX. 042-742-1441

https://www.sagami-wu.ac.jp/chukou



個別学校案内

7/31[土]ー8/28[土]

平日 9:30ー15:00

土曜日 9:30ー12:30

*日曜・祝日を除く

*要予約(公式サイト「入試情報」ページにて詳細を確認の上)

学校説明会

9/25[土] 14:00ー16:00

10/23[土] 14:00ー16:00

11/27[土] 14:00ー16:00

12/4[土] 14:00ー16:00

*要予約(公式サイト「入試情報」ページにて)

終了後、個別相談も行ないます

入試個別相談会

12/6[月] 16:00ー19:00

12/7[火] 16:00ー19:00

12/8[水] 16:00ー19:00

*要予約(公式サイト「入試情報」ページにて)

SAGAMI Girls

はじめよう、未来。
見つけよう、私。

令和4年度入学 学校案内

School Guide 2022



相模女子大学高等部

Sagami Women's University High School

変動する時代の中で、 「私の未来」を発見し、 思い描く道を歩き始めるために

これから始まろうとする高校生活。

勉強、部活動、学校行事、自主的な活動……

それぞれに全力で取り組むことで、

まだ気づけていない自分の可能性を発見してほしい。

大きな変化、未曾有の事態にあっても

自分らしく対応できる指針を手にしてほしい。

そのための環境を準備し、寄り添いながら

未来を探るあなたの大切な3年間で全力でサポートします。

ようこそ、相模女子大学高等部へ。



自分を大きく育てよう

近年の脳科学の研究でわかってきたこと。それは、「人間の才能は生まれつきのものではなく、努力でいくらでも伸ばせる」ということ。そしてこれが、「やればできる!」と自分の可能性を信じている人だけに起こることです。

「やればできる」の信念——それは、今の自分の実力よりも少しだけ高いところに目標を置き、失敗をしなが

ら挑戦を繰り返し、努力の末に目標に到達するといった経験を積むことで育まれます。

幼稚部から大学院までの総合学園、豊かな緑に囲まれた女子校という環境、新しいカリキュラムとコース——相模女子大学高等部はたくさんの挑戦のチャンスを用意して、皆さんをお待ちしています。相模女子で自分をさらに大きく育ててみませんか。

高等部校長
原野 聡美



四季を体感できる、 緑豊かなキャンパス

学園に一歩足を踏み入ると広がる、緑豊かな環境。

相模女子大学が擁する幼稚部から大学院までの

学舎が点在するこのキャンパスには、

ゆったりと穏やかな時間が流れています。

東京ドーム約4つ分の広大な敷地に、

樹齢70年を超える銀杏並木や200メートルに渡る桜並木、

ビオトープ、学習用の農園や稲田など。

多くの野鳥も生息しており、保護区に指定されています。

また、グラウンドや芝生の広場など、

思いきり身体を動かせるスペースや施設も充実しています。



本校舎

中世ヨーロッパのロマネスク建築を思わせる、周囲の自然とも調和したデザイン。伝統校としての気品を漂わせています。



教室

木目調で統一された、明るく広々とした教室。電子黒板やWi-FiなどICT環境も整っています。全室、冷暖房完備。



図書館

開放的な空間に、約4万冊の幅広い分野の蔵書が並んでいます。こちらの他、大学附属図書館も利用可能です。



図書館棟4Fホール

約400名を収容できる多目的空間。授業や学年集会、部活動の発表などさまざまな行事で使用しています。



和室

52畳の本格的な和室。床の間には掛け軸や季節の生花が飾られた、落ち着いた空間です。



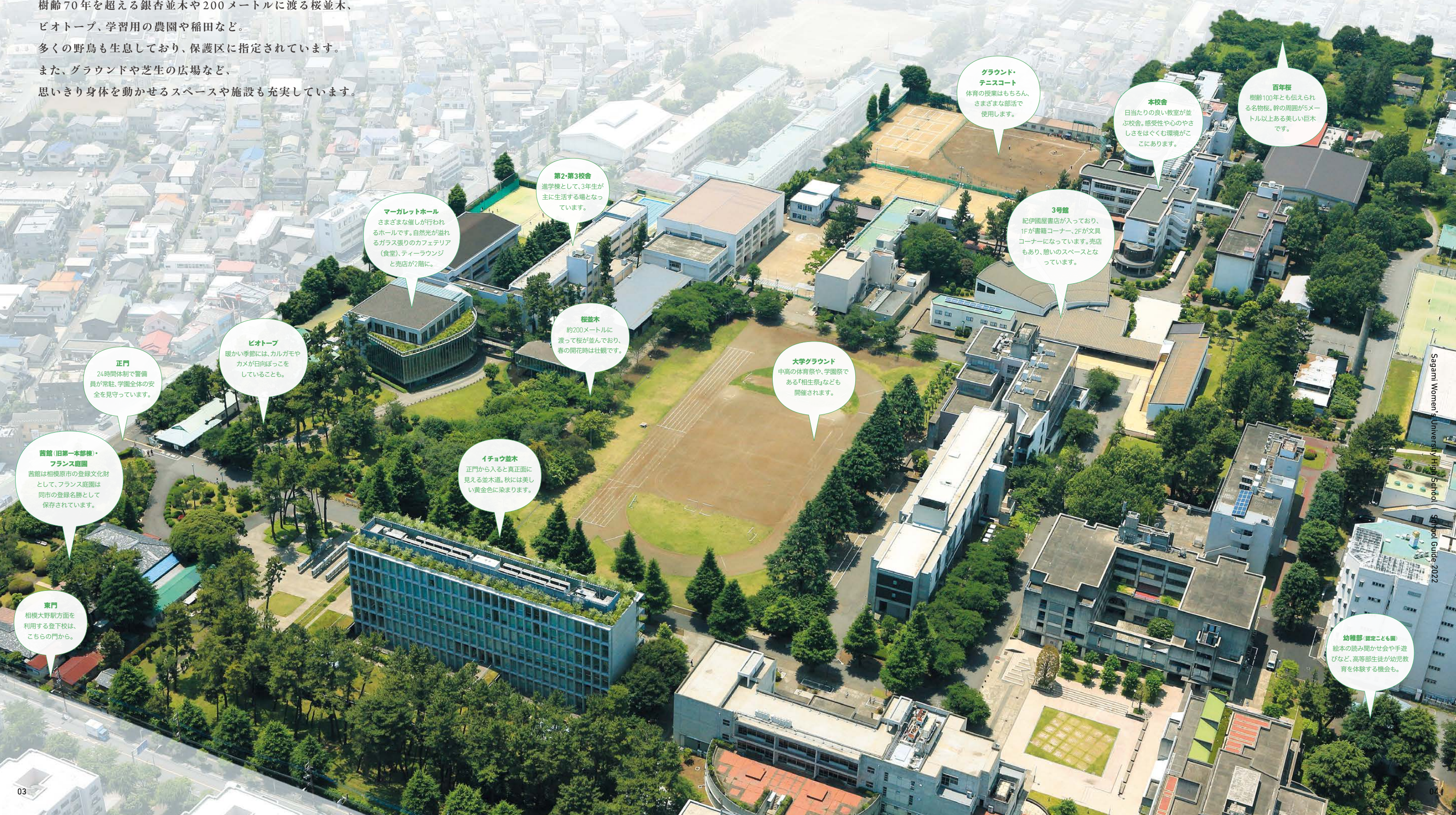
陶芸室

美術の授業では陶芸にも取り組みます。ろくろを使って制作した作品を、教員が大型窯でいねいに焼き上げます。



ALセンター

学年を問わず利用できる自習室。授業や放課後補習でも使用します。



グラウンド・テニスコート

体育の授業はもちろん、さまざまな部活で使われます。

本校舎

日当たりの良い教室が並ぶ校舎。感受性や心のやさしさをくむ環境がここにあります。

百年桜

樹齢100年とも伝えられる名物桜。幹の周囲が5メートル以上ある美しい巨木です。

3号館

紀伊國屋書店が入っており、1Fが書籍コーナー、2Fが文具コーナーになっています。売店もあり、憩いのスペースとなっています。

第2・第3校舎

進学棟として、3年生が主に生活する場となっています。

マーガレットホール

さまざまな催しが行われるホールです。自然光が溢れるガラス張りのカフェテリア(食堂)、ティーラウンジと売店が2階に。

桜並木

約200メートルに渡って桜が並んでおり、春の開花時は壮観です。

大学グラウンド

中高の体育祭や、学園祭である「相生祭」なども開催されます。

ビオトープ

暖かい季節には、カルガモやカメが日向ぼっこをしていることも。

正門

24時間体制で警備員が常駐。学園全体の安全を見守っています。

舊館(旧第一本部棟)・フランス庭園

舊館は相模原市の登録文化財として、フランス庭園は同市の登録名勝として保存されています。

東門

相模大野駅方面を利用する登下校は、こちらの門から。

幼稚部(認定こども園)

絵本の読み聞かせ会や手遊びなど、高等部生徒が幼児教育を体験する機会も。



自分を知って夢を育み、 目指す未来へと向かう そのために必要な 「確かな学力」を身につける

知識を身につけるだけではなく、
好奇心をもって自分なりに発想し、行動する。
仲間と意見を交わし、社会との関わりも広げていける……
その総合力こそが「確かな学力」。
身につけられる環境は、ここにあります。

「自分とは?」「私の未来は?」を
安心して見つけられる場所、
生き生きと活動できる環境がここに 있습니다



創立120周年を迎えた相模女子大学を中心とした総合学園の
広々とした環境の中、高等部もまた女子校としての歴史を重ねてき
ました。しかし、「理想の女性像」という枠に生徒をはめたいとは考
えません。女子校ならではの教育環境を生かしつつ、一人ひとりが
自分を知り、かけがえのない未来を模索できる。そんな学校生活を、
生徒と教師が共に目指します。

コミュニケーションを大切に、のびのびと切磋琢磨できる

学業への地道な取り組みによって知識を身につけるだけではあり
ません。互いに認め合いながら協力してアイデアを生み出し、努力
と工夫で形にしていく……コツコツと自分の歩幅で目標に向かい邁
進することも、異なる文化や価値観に触れて視野を広げる機会を持
つことも、教育において重要であると考えています。

生徒同士や生徒と教師のコミュニケーションを重視するのも特徴
のひとつ。互いを励まし合いながらそれぞれに進んでいく生徒を応
援します。コロナ禍という未曾有の状況下にあっても、生徒たちは協
力してアイデアを出し合ってさまざまな成果を挙げてきました。誰
もが安心できる場所、生き生きと活動できる環境としての相模女子
大学高等部を、引き続き守っていきたくと考えています。



“サガジョらしさ”
は
さまざまに

協力して
アイデアを生み出す

みんなで取り組み、
個性を活かして創りあげる
文化祭、体育祭、
球技大会など

異なる価値観を大切に、
互いに尊重し交流する

さまざまな課外活動、部活動、
ボランティア活動など

地道に取り組む

日々の学習や活動を
積み重ねた上での
各種検定・コンテストへの
参加など

5つの柱で支える 相模女子の教育

豊かで奥行きのある教育を実現するために相模女子が
築き上げてきた具体的な方策。生徒の一人ひとりが
主役として取り組めるコースやプログラムが待っています。

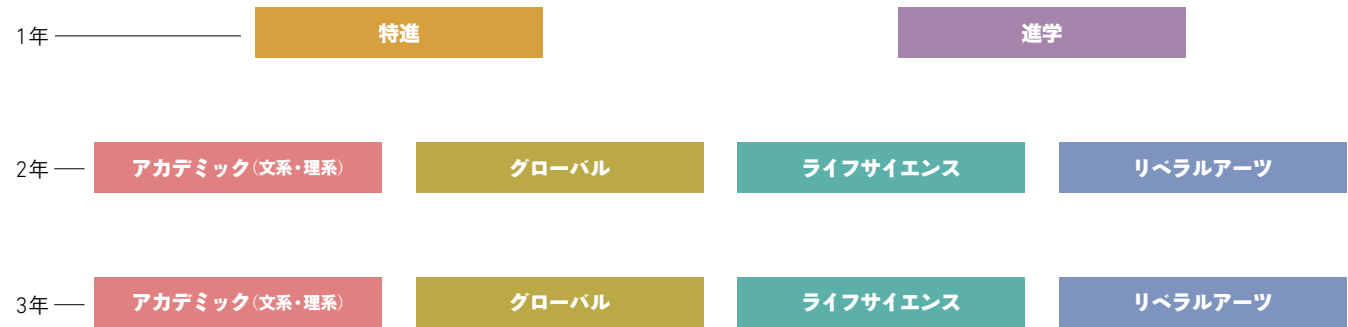


【コースの選択】

個性の伸長と自己実現を支援する 4つの進路系統別コース

1

幅広い学びを通して社会に対する視野が広がれば、
将来のビジョンが変化していく可能性も。
そこで、従来の「進学」「特進」の2コースを進化・発展させ、
「進路系統に応じた探究的な学び」を深められる4コースを
2年次から選択可能に。生徒の自己実現を全力で支援していきます。



※各学年、進級時にコース変更が可能です(一部、成績の基準あり)。

特進

自らの進路を切り開くために、常に挑戦する

変わりゆく大学入試に対応した学力を身につけ、自分の可能性を信じて国
公立や難関私立の大学に挑戦したい生徒に適したコースです。より高い目標
に向かい、全力で突き進みます。

進学

目標に向かって、安心してじっくり学ぶ

自分らしく充実した学校生活を送り、自信を持って大学進学に臨みたい生徒
に適したコースです。多種多様な大学入試形態の中から自分に合ったものを選
択し、じっくりと向き合っていきます。

アカデミック(文系・理系)

国公立大学受験をメインに、難関
私立大学受験にも対応。現代社会の
課題を広い視野から探究する目を養
います。文理融合型の学問にも対応
できるように、5教科を中心にバラ
ンスよく学びます。難関私立大学志
望者には、3教科中心の履修も考慮。

グローバル

国際系、語学系を中心に、文系3教
科を軸としたカリキュラムで学習し
ます。英語については4技能に特化
した複数の科目を設置し、現代社会
の課題に対して英語“で”探究・発信
できるレベルを目指します。

ライフサイエンス

従来から志望者の多い医療系・栄
養系に加え、農学、環境、メディア
など教科横断的な視点を養いたい
生徒に適したコースです。理系分野
の探究活動を通じて、社会とつなが
り、自らの可能性を広げます。

リベラルアーツ

私立大学文系を中心に、教育、芸
術、体育など多様な進路を想定した
コースです。本大学や地域、企業と
連携した探究活動に取り組み、将来
の進路や自分の生き方を模索しま
す。生涯にわたって主体的に学び続
ける力や姿勢を養います。

4つのコース、異なるポイント

	アカデミック(文・理)	グローバル	ライフサイエンス	リベラル
相模女子大学への推薦、確約併願	○	○	○	○
指定校推薦	×	×	○	○
学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜	○	○	○	○
海外研修、ターム留学等	○	○	○	○
部活動	○	○	○	○
プログレス選択科目(3年次)	×	◎	◎	◎
夏期・冬期・春期講習	◎	◎	△	△

◎：必修
○：希望者が対象
△：参加や希望に際して
条件や基準あり
×：なし

【学習のサポート】

「意欲」を刺激しつつ学力を伸ばす、 確かなサポート体制

生徒の適性や目標に合わせて選ぶことができる、

さまざまな学習サポートを行っています。

日々の授業を補完することはもちろん、多様化する大学入試への対応も

視野に入れたサポート体制を整えています。

各自に合った放課後の学び

・放課後学習サポートプログラム

常駐の専属サポーターが放課後の時間割作成や勉強の仕方をアドバイスし、チューターが個別指導をするシステム「まなLab(マナラボ)」。AIによる苦手箇所の把握、克服カリキュラムの作成なども行います。

仲間と一緒に集中して取り組む

・特別講習

夏季・冬季・春季の長期休業中に実施する、主要5教科に焦点を絞った集中講習です。基本に立ち返っての苦手科目の克服から受験対策としての入試問題チャレンジまで。仲間とともに切磋琢磨します。

「受験のプロ」からの実践的サポート

・学内予備校

3年生を対象に、予備校での指導経験が豊富な「受験のプロ」による講座を実施しています。普段の授業とは違う環境に身をおいての入試対策が可能です。



withコロナの時代、生徒の学校生活を守るために

さまざまな策を講じながら、生徒たちの学校生活を最大限守る工夫をしています。

2020年度の初めはリモート学習に対応。6月には、クラスを半分に分けての分散登校や学年ごとの登校日設定など、安全面を考慮した上でいち早く登校を再開させました。体温チェック用のサー



毎朝の登校時にはサーマルカメラで体温をチェック。



校内各所にアルコールを設置し、手指消毒を徹底。



生徒総会など全校の行事は、各教室でライブ視聴。



コの字型の飛沫防止パーテーションを各デスクに設置。



【学園連携プログラム】

幼稚園*から大学院までが揃う 「総合学園」ならではの特別プログラム

年齢を超えた交流を通して、社会生活に必要な想像力、発想力を育みます。

「これらの体験が進路選択の判断材料のひとつとなった」

と語る先輩も少なくありません。

*認定こども園 相模女子大学幼稚園部

大学の講義を進路選択のヒントに

・サガジョの学び講座

相模女子大学の教授陣による講義を体験できる連携プログラムで、複数ある中から興味を持てる講義を選択して受講します。こうした経験を卒業後の進路を考えるための一助としてもらいたい。そんな狙いもある取り組みです。



学問の現場を訪ねて、大学生生活を覗き見る

・研究室訪問

大学の研究室を訪問して、専門分野や卒業論文のテーマなどについて詳しく話を聞ける機会です。学問の現場に身を置いてみることで、大学生生活の一端をイメージできます。



園児とともに過ごすという貴重な経験

・預かり保育ボランティア

保育士や幼稚園教諭を目指す生徒を中心に、放課後の時間を利用して預かり保育のお手伝いをしています。幼稚園教諭の指導のもと、教育現場を体験できる貴重な機会。繰り返し参加することで、園児たちの成長に立ち会うこともできます。



大学生と一緒に地域へ貢献

・田植え体験

福島県本宮市を訪問し、田植えを体験する貴重なプログラムです。相模女子大学の学生とともに参加し、昔ながらの日本の文化である田植えを通じて地域に貢献します。



*各活動は、実施を工夫、コロナ禍の終焉を待って再開などそれぞれに対応しています。



【文化体験】

さまざまな異文化交流を経験し、視野を広げていく

将来の夢や進路を模索する高校生活は、さまざまな文化や価値観に触れることで幅広い視野を身につける重要な場。異文化との交流によって多様性を知ること、グローバル社会に対応できる力を育みます。また、コミュニケーションツールとしての英語を集中して身につけるプログラムも用意しています。

異文化に触れて多様性を知る

・エンパワーメントプログラム

英語だけでディスカッションをする3日間。相模女子大学と高等部の学生・生徒数名と外国人留学生1名という小グループ体制で、さまざまなテーマについて議論します。役立つ表現の習得から最終日のプレゼンテーションへ。英語力アップはもちろん、グローバル社会への参加を意識できるプログラムです。



・海外留学生受け入れ制度

国際交流団体を通じて留学生を受け入れています。異なる国で育った生徒たちが毎日の学校生活をともにすることで、互いの習慣や文化への理解を深めます。



*各活動は、実施を工夫、コロナ禍の終焉を待って再開などそれぞれに対応しています。

・ニュージーランド修学旅行

のどかな自然大国ニュージーランドは、先住民マオリとヨーロッパの文化を融合・共生させてきた多様性の国でもあります。ファームステイや現地校との交流を通して、異文化に触れる6日間の修学旅行。2年生全員が対象です。

・オーストラリア研修

夏季休業中に、姉妹校である「フレンディビル・カトリックカレッジ」に通う15日間のプログラム(対象は希望者)。同校生徒宅にホームステイしながら、生きた英語や雄大な自然を体験します。4週間の学校派遣制度もあります。



・カナダ研修

カナダ西部の自然豊かな街ケロウナで、15日間のホームステイ。英語を外国語として学習する人々を対象とした集中英語プログラム(Integrated English Program)に参加します(対象は希望者)。

・ニュージーランド ターム(学期)留学

1月下旬から3月末の9週間(1学期間)、ホームステイしながら現地の高校に通います。現地は夏。課外活動も含め、多様性を尊重した学校生活を体験します(対象は希望者)。

4



英語力はもちろん、将来の夢を刺激されたエンパワーメントプログラム



高等部2年
特進コース
高橋さん

オーストラリア研修を目標に本校へ。コロナ禍で留学は先延ばしとなりましたが、日本にいたが大好きな英語と関わる機会を意図的に持つようにしています。部長を務めるESS部では英語で学校生活を紹介する動画を作成。海外の姉妹校で観ていただきました。また、とにかく刺激を受けたのがエンパワーメントプログラム。留学生たちと将来について英語でディスカッション、グローバルな社会で生きるためには発信力や異文化への理解・共感が必要だと感じました。将来は世界の子どもたちを助ける仕事に就きたい私にとって貴重な体験となりました。姉妹校生徒とのメール交換にも意欲が湧いています。



【自主性の育成・ボランティア】

誰かのためのアクションで、知らなかった自分に気づく

どのようにして自分を社会に役立てられるかを考え、行動する。社会に役立つ喜びを体感する。また、自主的に考えて誰かをサポートする……。これからの人生を豊かにする経験でもあり、知らなかった自分の志向、可能性に気づくことができる貴重な機会です。「自分を客観視できたことが進路選択にも役立った!」という生徒も少なくありません。

新たな試み、オンライン文化祭!

・白木祭実行委員会

多くの年間行事が実施できなかった2020年度。メインイベントである学園祭「相生祭」も例外ではなかった中で、生徒たちがその自主性を大いに発揮したのが「白木祭」です。

誰もが初めての経験となるオンラインによる文化祭は、有志による実行委員会メンバーが中心となってゼロから企画をスタート。準備に約半年を費やしました。公式サイトを主な舞台として、部活発表を中心とした動画コンテンツを配信する一方で、クラウドファンディングによる花火の打ち上げ及びライブ中継も。また、校内だけの行事に留めることなく、近隣の商店街との連携にも意欲的に取り組みました。

相模女子大学高等部が大切に育んできた「自主性」を、生徒たちが遺憾なく発揮。学内イベントの新たな可能性を切り拓く結果となりました。



クラウドファンディング

自分で選んで、体感する社会参加

・マーガレットチャレンジ

SDGs(持続可能な開発目標)を踏まえて行う活動です。社会に参加できる活動や地域企業との取り組みなど幅広い選択肢から、各自がテーマを選択してリサーチするマーガレットチャレンジ。1年生全員が取り組み、夏休み明けにはスライドで成果発表会を実施します。

[過去のテーマ例] こども食堂/裁判傍聴/認定こども園預かり保育/キリンスクールチャレンジなど



・マーガレットクエスト

個人で興味・関心を追うマーガレットチャレンジを経て、協働的で社会とつながる探究—クエストへと活動を発展させます。グループ単位で新たなテーマを選んで取材し、生徒自ら撮影・編集した動画で発表(下写真)。マーガレットクエストはSDGs探究AWARD2020において協賛企業賞を受賞し、サステナブル・ブランド国際会議Student Ambassador Programに招待されました。

[過去のテーマ例] 日本におけるジェンダー問題/雑草で紙を作る/SDGsに向けた相模原市の取り組みなど



ボランティア・自主的活動への参加例

「届けよう、服のチカラ」プロジェクト/おにぎりアクション/衛星データで思考を広げるSDGsオンラインアイデアソン/ポンパドウル×相模女子大学のコラボ商品開発など

5



オンライン文化祭の実行委員長に白紙状態から挑戦!



高等部3年
進学コース
大滝さん

前年度の相生祭(従来の学園祭)で実行委員を務め、「今年も!」と張り切っていたところで中止が決定。「オンラインで実現したい」と実行委員長に。秋頃から実行委員を募って、毎週のミーティングでアイデアを集めた。白木祭という名称も私達が考えました。公式サイト作成、コンテンツの企画・運営、クラウドファンディングによる花火打ち上げ……実行委員がそれぞれの得意分野を活かして大活躍してくれたのです。また、近隣商店街の活性化と白木祭の告知の相乗効果を狙って、商店クーポン付きチラシも作成。外部交渉は大変でしたが、先生方にアドバイスをいただきながら行い、とても有意義だったと感じています。



“熱中”を見つけない！ 充実の学校生活

熱中できる何かに出合えるかどうか。
充実の高校生活を大きく左右する要素は、ここにもあります。
それぞれの役割で輝ける多彩な行事、部活動などをご紹介します。

年間行事

自分で考え、 ともに作り上げる楽しさ

1年を通じて、生徒自らが準備・運営・振り返りを行う学校行事が数々あります。
主体的に関わる姿勢を学びながら、仲間とともに作る楽しさを実感してほしいと考えます。

*各活動は、実施を工夫、コロナ禍の終焉を待って再開などそれぞれに対応しています。

5月

- ・定期試験①
- ・球技大会
- ・生徒総会



4月

- ・始業式
- ・入学式
- ・宿泊オリエンテーション(1年生)



6 7 8月

- ・生徒会役員選挙
- ・修学旅行(2年生)
- ・定期試験②
- ・終業式
- ・夏期講習
- ・海外研修(希望者)
- ・特進勉強合宿



9月

- ・始業式
- ・体育祭



10 11月

- ・創立記念日(10月18日)
- ・定期試験③
- ・相生祭



12月

- ・定期試験④(3年生は卒業試験)
- ・終業式
- ・漢字コンテスト
- ・冬期講習



3月

- ・卒業式
- ・学年末試験
- ・修了式
- ・特進勉強合宿(1年生)
- ・スキー教室(希望者)
- ・春期講習



1 2月

- ・始業式
- ・英単語コンテスト
- ・本大学説明会



部活動

仲間と過ごす、 かけがえのない時間

心身ともに打ち込める部活動。
仲間と切磋琢磨しながら過ごす放課後は、
授業とは違ったアングルから光を与え、
高校生活をより実りあるものにしてくれる
かけがえのない時間となるはず。
あなたの「やりたい!」がきっと見つかります。



運動部 15部

- 弓道部
県私学大会 個人4位
- サッカー部
県高校リーグ1部所属
- 水泳部
全国大会出場
- スキー部
全国大会出場
- ソフトテニス部
県大会団体 ベスト8
- ソフトボール部
神奈川県民体育大会 ベスト8
- 体操部
全国大会出場
- チアリーディング部
全国高等学校選手権大会出場
- テニス部
県大会本戦出場
- バスケットボール部
関東大会出場
- バドミントン部
県大会出場
- バントワーリング部
全国大会 金賞
- バレーボール部
県大会 ベスト32
- モダンダンス部
県新人大会 5位
- 陸上競技部
関東大会出場(やり投げ)

文化部 18部

- ESS部
学園連携イベント参加
- 演劇部
北相大会 最優秀賞
- 科学部
キッズ・サマーフェスティバル参加
- 合唱部
ヴォーカルアンサンブルコンテスト 銅賞
- 華道部
草月流免許取得・相生祭作品展示
- 軽音楽部
全国大会出場
- 弦楽部
校内ミニコンサート開催
- 茶道部
裏千家免許取得、お茶会開催
- 写真部
JPS(日本写真家協会)展 入選
- JRC部
各種ボランティア参加
- 書道部
全国学生書写書道展 特別賞
- 吹奏楽部
東日本大会 金賞
- 箏曲部
福祉施設訪問演奏
- 調理部
ボンパドウルレシビコンテスト 商品化
- 美術部
全日本学生美術展 特選、佳作
- 放送部
県大会 3部門奨励賞
- 漫画研究部
部誌発行・相生祭作品展示
- 競技かるた部
県大会団体優勝、C級大会出場

*2016年～2020年度の成績

制服

かわいい!と誇れるブレザースタイル

制服は、伝統的なブレザースタイル。

スカートは、正装用でジャケットと揃いの紺色無地、夏用のチェック柄、
通年用のチェック柄の3種類が用意されています。

正装用の布地はさまざまな紺色の糸を紡いで織られており、品のある装いに。
また、紺色のカーディガンやベスト(紺・白)、半袖ポロシャツ(紺・白)があり、
気候に合わせたコーディネートが可能です。

校章は、マーガレットの紋様。

花言葉である「希望に満ち溢れる清楚な乙女心」をいつも胸に飾り、
大切に育てていきたいと思いますという想いが込められています。



生徒の要望を受け、
生徒会が主体となってリュック、
半袖ポロシャツの導入を手がけました。



1日のスケジュール

充実の毎日を積み重ねたい

高校生活の基本的な1日の流れです。
安全性を配慮した変更を随時行います。



月～金曜日

～ 8:25	登校
8:25 ～ 8:30	SHR
8:40 ～ 9:25	1時限
9:35 ～ 10:20	2時限
10:30 ～ 11:15	3時限
11:25 ～ 12:10	4時限
12:10 ～ 13:00	昼休み
13:00 ～ 13:45	5時限
13:55 ～ 14:40	6時限
14:50 ～ 15:35	7時限
15:45 ～ 15:55	SHR
19:00	最終下校

土曜日

～ 8:25	登校
8:25 ～ 8:30	SHR
8:40 ～ 9:25	1時限
9:35 ～ 10:20	2時限
10:30 ～ 11:15	3時限
11:25 ～ 11:35	SHR
19:00	最終下校

【進路指導】

自己発見から始まる進路選択を
ていねいにサポート

本当に進みたい道を見極めるためには、得意科目や学力レベルとともに、まずは「自分を知る」こと。必要に応じて教師陣が細かくフォローし、自己発見から進路選択、そして進路実現へと導きます。



進路実現

夢に向かって、具体的課題を解決していく

見つけた夢を叶えるために進むべき道＝進路を、頼りになる教師たちとともに詰めていきます。克服すべき課題をひとつひとつあぶり出し、必要な実践的アプローチを共有しながら受験に向けて臨みます。

3

評価

結果

行動

新たな目標

進路選択

「私の進むべき道はこれ!」を絞り込む

マーガレットチャレンジ&マーガレットクエスト等も含めた学校生活での経験を、担任や部活動顧問とのコミュニケーションによって自分の進路へと落とし込むサポートをします。視野を広げるための実践的・具体的な取り組みを必要に応じて選ぶことが可能です。

2

評価

結果

行動

新たな目標

評価

結果

行動

目標

自己発見

「私ってこういう人、こうなりたい」を知る

さまざまな経験を積むことからの自己発見をサポートします。全1年生が参加するマーガレットチャレンジ&マーガレットクエスト(p.12)は、学校以外の場に目を向けながら自分で考えて行動する探究プログラム。実は自己を発見する絶好の機会であり、進路決定にも深く関わっていくと考えます。自分はどのようにして問題解決を試みるのか、自分はどんなことで喜びや達成感を得られるのか……そんな自問からも将来目指すべき方向が明確になっていきます。

1

自己理解や進路選択を促す、さまざまなプログラム

・キャリアノート

1日単位で予定や学習状況などを記録するノートを配付。先を見据えて計画を立てたり、過去の記録を振り返ることで、自身を客観的に把握できる力を養います。努力の積み重ねを視覚化できることが自信にもつながります。

・キャリア講演会

さまざまな分野で活躍するプロフェッショナルに経験談やビジョンを伺い、社会への視野を広げます。

・受験体験座談会

卒業生による具体的な受験対策やアドバイスを少人数のグループで聞ける機会です。

・日赤救急法講習会(希望者)

主に医療系の進路を視野に入れた生徒が受講します。

さまざまな学園連携プログラム(p.10)、ボランティア活動(p.12)なども活用します。



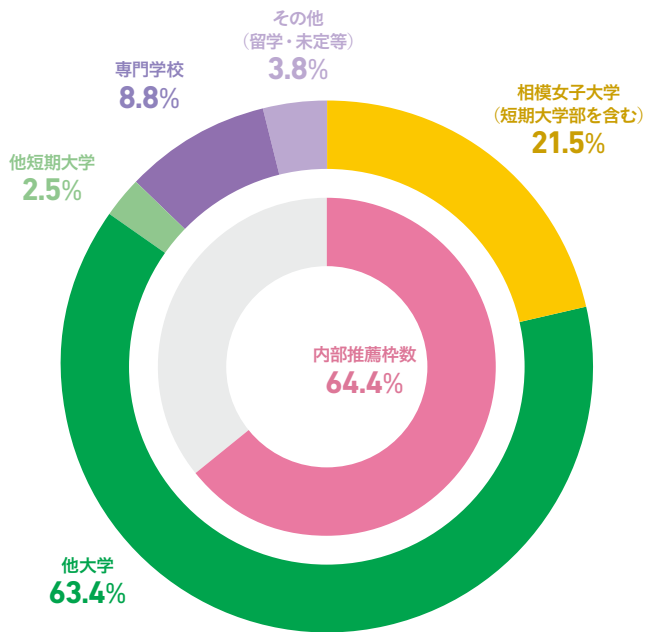
キャリアノート

【進路実績】

見つけた夢に向かって新たな一歩を

進学比率

2020年度卒業生
卒業生317名



主な大学合格者数(2020年度実績)

国公立大学

麻布大学 2名
神奈川県立保健福祉大学 1名
桜美林大学 19名
大妻女子大学 8名
神奈川大学 11名

私立大学

相模女子大学 79名
早稲田大学 2名
明治大学 4名
青山学院大学 3名
立教大学 4名
中央大学 3名
法政大学 7名
立命館大学 1名
成蹊大学 7名
成城大学 4名
明治学院大学 5名
國學院大学 4名
津田塾大学 2名
東京女子大学 2名
日本女子大学 12名
学習院女子大学 3名
日本大学 13名
東洋大学 5名
駒澤大学 4名
専修大学 10名
北里大学 3名
聖路加国際大学 1名
杏林大学 2名
東邦大学 1名
順天堂大学 2名
東京女子医科大学 1名
東京薬科大学 1名
昭和薬科大学 1名
東京都市大学 3名
神奈川工科大学 6名
関東学院大学 6名
共立女子大学 10名
国士舘大学 3名
産業能率大学 1名
実践女子大学 5名
昭和女子大学 5名
女子美術大学 1名
白百合女子大学 2名
聖心女子大学 1名
清泉女子大学 1名
大東文化大学 3名
玉川大学 7名
多摩美術大学 3名
帝京大学 10名
東海大学 13名
東京家政大学 2名
東京経済大学 1名
東京工科大学 3名
東京女子体育大学 4名
東京農業大学 4名
東洋英和女学院大学 5名
日本女子体育大学 1名
日本体育大学 2名
フェリス女学院大学 10名
武蔵野大学 10名
武蔵野美術大学 1名
立命館アジア太平洋大学 1名
その他私立大学 66名

相模女子大学への内部推薦制度

推薦枠合格者数 84名
(短期大学部を含む)

【内部推薦制度】

学芸学部

日本語日本文学科 21名
英語文化コミュニケーション学科 19名
子ども教育学科 20名
メディア情報学科 11名
生活デザイン学科 7名

人間社会学部

社会マネジメント学科 19名
人間心理学科 19名

栄養科学部

健康栄養学科 13名
管理栄養学科 18名

短期大学部

食物栄養学科 19名

【確約併願制度】

他大学を第1志望、相模女子大学を第2志望とする場合に利用できます(成績等条件あり)

学芸学部 20名
人間社会学部 8名
栄養科学部 5名
短期大学部 5名

VOICE
卒業生は語る

大学受験を念頭に
特進コースへ、
理系で念願を叶えて

東京薬科大学

生命科学部・大学院卒
金子さん



かわいい制服にも惹かれたことが本校志望のきっかけで、受験に向けたカリキュラムが充実していたことから特進コースへ。今でも思い出すのは春・夏の「勉強合宿」でしょうか。山梨の山奥で、昼は猛勉強に励み、お互いの得意科目を教えあったり、一転して夜はおしゃべりに夢中になったり。メリハリのある数日間に充実感がありました。塾に通うことなく勉強は学校のみ。おしゃれやメイクへの興味からコスメ開発を夢見て理系の大学へ。現在は化粧品メーカーで企画開発に携わっています。

勉強、部活、
英語スピーチ……
今の自分の原点がある

成蹊大学

文学部英文科卒
田口さん



定期テストは学年10位以内、バドミントン部や英語スピーチコンテストにも全力投球! そんな欲張りな高校生活を進学コースで実現しました。困ったときに担任や部活顧問の先生によるアドバイスがすぐに受けられるという本校の環境は、とにかくありがたかったです。スピーチコンテストに際しても、ネイティブの先生による文章チェックや発音アドバイスのおかげもあり、納得のいく成果を得ることができました。大学でも英語を専攻、現在はキャビンアテンダントの道を歩んでいます。

美術に明け暮れた3年間、
楽しい!の気持ちが
芸大受験の原動力に

東京藝術大学

美術学部・大学院卒
今泉さん



美術系大学を志望していた私は、選択科目で美術Ⅲまで学べる進学コースへ。美術系予備校にも通い、部長を務めた美術部では油絵コンクールへの出品、校内の「百年桜」をテーマに撮った短編映画など楽しかった思い出ばかりのまさに美術三昧です。一浪しながらも粘り強く努力を続けて第一志望に合格することができたのは、美術の先生がデッサン指導などで助けてくださったり、同志と切磋琢磨できたから。大学院でさらに研究を進め、現在は高校で教えながら陶芸家としても活動しています。